令和6年 木曾広域連合第1回定例会行政報告

令和6年2月29日

本日は、木曾広域連合第1回定例会を招集しましたところ、議員の皆さまには、何かとご多用の中、ご出席いただきありがとうございます。日頃から広域行政に対し、ご指導、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新年早々元旦の夕方4時過ぎに発生した能登半島地震では、家屋倒壊や土砂災害、津波により、200人を超える死者が出るなど、甚大な被害が発生しました。今なお大変な状況の中災害復旧作業が続いています。2日夕方には、羽田空港で日本航空機と海上保安庁の航空機が衝突炎上し、日本航空機の乗員は乗務員の的確な判断の下、全員脱出し無事だったものの、海上保安庁の5人が死亡しました。また、12月21日王滝村滝越地区で住宅旅館火災が発生し1人が負傷、残念ながら1名がお亡くなりになりました。災害・事故により被災された皆さまに心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

2月12日に東京で御嶽海関の結婚披露宴が挙行され500名を超える大勢の方が参列し祝福とともに、一層の活躍を願う多くの言葉が送られていました。

次に、本定例会に提出した議案について申し上げます。令和6年度当初予算については、一般会計では、予算総額を、32億3,800万円余とするもので、対前年度比15億3,200万円余(△32.1%)の減額計上となりました。減額な主な要因は、木曾寮建設工事が完了したこと等によります。また、主な事業では、広域内部ネットワーク再構築事業費の計上に、6,300万円余、木曾寮指定管理料に4,900万円余、木曾クリーンセンターの可燃ごみ施設補修工事に、1億円余、不燃処理施設業務の民間委託に3,500万円余、5ヶ年計画の地域ICT利活用広域連携事業(回覧板等情報共有化事業委託等)に、2,500万円余、第3期分町村橋梁点検業務事業に、7,700万円余など計上いたしました。

一般会計を性質別に見ると、人件費は、前年度比1億4,000万円余の減となる10億1,200万円(正規職員・任用職員の合計)に、物件費では、1億100万円余の増となる14億9,400万円に、普通建設事業費では、12億8,800万円余の減となる3億8,300万円となります。

介護保険特別会計では、当初予算の総額を、40億9,800万円余といたし、対前年度比2億6,200万円余(△6.4%)の減額予算となりました。また、汚泥集約センターの下水道事業会計では、当初予算の収益的収入および支出を、1億1,000万円余といたし、対前年度比2,200万円余(△16.6%)の減額予算となりました。

以上、3会計の当初予算編成にあたりましては、第4次木曾地域振興構想の基本理念と共に、第6次木曾広域計画及び持続可能な開発目標(SDGs)の推進を念頭に置き、特

別会計では、第 9 期介護保険事業計画及び地方公営企業法などの指標を下に、構成 6 町村との協議を重ねてまいりました。コロナ禍など社会情勢を見計りつつ、適正な予算執行と業務遂行に努めてまいります。何卒、ご理解の上、ご審議をお願い申し上げます。

それでは、11 月定例会以降の各課の事務事業を報告します。

□総務課

○12 月 8 日（金）、松本木曾会から展示用イーゼルを 2 基、水消火器訓練用の標的 2 台を寄贈していただきました。それぞれ文化公園、消防本部に配備し各種事業、訓練等で大切に活用させていただきます。

○2 月 10 日（土）消防職員採用 2 次募集の体力・面接試験を実施し、10 名の応募者の中から 2 名の採用者を決定しました。これで、令和 6 年度の職員採用試験は全て終了し、先に行われた 1 次募集と合わせ一般職 2 名、消防職 4 名計 6 名の採用者を内定しました。

□地域振興課

○12 月 10 日（日）「木曾三川と堀川・上下流をつなぐ交流会」が名古屋市で開催され、越原副連合長及び郡民 17 名が訪問してまいりました。当日は、河田名古屋市緑政土木局長はじめ市民の皆さまとの意見交換など交流会を行いました。

○春日井市の多世代交流拠点施設「グルッポふじとう」において、12 月 28 日（木）、1 月 20 日（土）に木曾の広葉樹、木曾ひのきの間伐材を活用したワークショップを開催し、水源地の森林の果たす役割について、市民の皆さまに知っていただく取り組みを行いました。

○2 月 14 日（水）木曾川流域みんなの会の「水源の里基金」を活用して、木曾青峰高校インテリア科の生徒 4 名が制作した、木製玩具 4 点の贈呈式が名古屋市科学館で行われました。これまでに、木曾地域の木材を活用して制作した玩具 37 点が寄贈され、同施設を訪れた親子に楽しんでいただいています。

□森林整備推進室

○愛知中部水道企業団との森林整備協定造林事業について、これまでの下流域からの基金助成の実績と、事業期間の延長や対象事業の拡大等、協定事業の見直しに敬意を表し、昨年 12 月 26 日（火）、正副連合長と正副議長で企業団に出向き、表敬訪問を行いました。企業団構成 5 市町の首長（正副企業長）等との懇談を通じ、木曾地域の厳しい森林整備の実情等について、一層のご理解をいただけたものと思います。

□健康福祉課

○2月6日(火)に介護保険事業計画策定懇話会が開催され、令和6年度から8年度までの第9期介護保険事業計画(案)について了承をいただき、その後の正副連合長会議にて事業計画を決定いたしました。

○12月15日(金)には、木曽病院濱野院長のご同行により、信州大学医学部に、来年度の木曽地域の一次救急医療への医師派遣の依頼を行いました。また、2月1日(木)には、木曽地区医療協議会の定期会議を開催し、関係各位と意見交換を行っております。

今後も一次救急の医師配置、医師等の地域の医療人材確保に向けた協議に努めてまいります。

□環境課

○例年春と秋の2回実施している、木曽地域廃棄物不法投棄防止対策協議会主催によります街頭啓発は、コロナ禍の影響から休止中のため、連合独自で1月23日(火)に「木曾かめ君」を活用し、不法投棄撲滅の広報宣伝活動を管内一円で展開しました。

□建設課

○各町村が策定する「橋梁長寿命化修繕計画策定業務」(町村発注)は2月28日(水)までに有識者からの意見を聴取する「橋梁長寿命化修繕計画策定会議」を終え、年度末までには業務が完了となります。新たな「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、計画的で効率の良い橋梁修繕事業を町村と共に進めてまいります。

□情報センター

○昨年に引き続き本年も1月10日(水)、正副連合長と共に内閣府「地方創生推進事務局局長」の市川内閣審議官を訪ね、木曽広域自治体DX・ICT利活用計画の実施状況の説明と「デジタル田園都市国家構想交付金」について、内閣府の担当者も同席いただき、申請についてアドバイスをいただきました。今後、国の支援をいただきながら事業を進めてまいります。

○今年度の自治体DX・ICT利活用計画の実施状況について、議会全員協議会で報告させていただきますが、概ね計画どおり進んでいるところです。

各事業を着実に実施できるよう構成町村と連携し進めてまいります。

□木曾文化公園

○12月10日(日)に来場者アンケートで一番人気の公演、ミュージカル「クリスマス・キャロル」を開催し、郡内外から多くの皆様に(341名)来場いただき本格的なミュージカルをお楽しみいただきました。

○1月27日(土)には、日本最古で人気の人形劇団「ブーク」による2本立てのファミリー公演を開催しました。子どもさんと共に多くの大人の方にも(222名)来場いただきました。

○2月17日(土)には、東京大学木曾観測所・国立天文台と共同で、四次元デジタル宇宙を体験できる機械の操作研修会を開催しました。天文学に親しみ楽しむ機会の創出だけでなく、観光・学校・教育など広く分野を超えた関係者の交流を求め、今後も開催していきます。

□環境センター

○緑聖苑では、1月末現在381名の火葬を行いました。昨年同時期より36名少なくなっています。11月以降、7名の新型コロナウイルス感染症の方を受け入れています。

○環境センターのし尿受け入れ量は、1月末現在で3,144k^l、浄化槽、農業集落排水は8,723k^l受入れています。昨年同時期よりし尿が120k^lの減少、浄化槽関係が65k^lの減少となっています。また、汚泥集約センターの受け入れ量は、9,040 m³で、昨年より290 m³増加しています。

□木曾クリーンセンター

○昨年から協議してまいりました「不燃ごみ処理施設等業務委託」について、4月1日(月)より業務を開始できるよう準備を進めています。

□木曾寮

○移転改築事業につきましては、12月22日(金)に予定通りの完成となり、1月17日(水)に竣工検査、2月9日(金)には竣工式を行いました。また、竣工式の同日午後と翌日10日(土)に内覧会を実施し207名の方に施設をご覧いただきました。また、視察依頼も受けており、これまでに5団体に視察頂きました。現在はチップボイラー等設備機器の納入設置と共に荷物の引っ越し作業を行っています。3月20日(水)の利用者転居で全てが移行することとなります。

- 指定管理については詳細の協議が終了し、現在は協定書の確認と共に引き継ぎ、新職員体制の準備を行っており、4月から指定管理移行を行います。
- 利用者の皆様には、1月中に可能な方は新施設をご覧いただきました。移転にかかり、仏事、イベントなどの延期、中止などが多くご負担をかけておりますが、丁寧な説明でご承諾を頂きながら進めています。

□消防本部

- 12月19日(火)、総務省消防庁から救急隊の感染対策資機材 N95 マスクと感染補助具を受納しました。救急隊感染対策に有効に使用させていただきます。
- 令和6年能登半島地震に伴い、長野県緊急消防援助隊に出動要請があり、木曽広域消防本部は、1月9日(火)から22日(月)までの14日間、救急隊1隊、後方支援隊1隊、延べ派遣職員数20名が出動しました。派遣地域は、石川県珠洲市で救急隊として活動しました。
- 昨年一年間の火災出動は、計18件(昨年比6増)となり、内訳は、建物13件(8増)、車両2件(1減)その他の火災3件(1減)となりました。12月21日(木)に死者を伴う建物火災が発生しました。また、救急件数は、計1,675件(昨年比29増)と昨年を超え、発足以来最多となりました。急病が全搬送の67%を占めております。主な搬送先は木曽病院へ1,171名(14名増)、中津川市民病院へ164名(増減なし)、伊那中央病院へ94名(35名増)となり、新型コロナウイルス感染症の出動は、67名(4名増)となっています。

今回提出の議案であります。条例改正等4件、令和5度補正予算が2会計の2件、令和6年度当初予算が3会計の3件全9件でございます。各議案につきましては、事務局長から提案し、その詳細につきましては、担当課長より説明します。なお、定例会の会議中と会議後に全員協議会を予定しております。ご審議の程、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。